

I 平成28年度みえスタディ・チェックの概要

1 目的

- ・ 児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育む。
- ・ 学習指導要領の趣旨や内容に基づき、児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業改善及び個に応じた指導の充実等、各学校が組織的かつ継続的なPDCAサイクルを確立し、子どもたちの学ぶ意欲や学力の向上のための取組を促進する。

2 実施日及び対象学年・対象教科、実施率

	平成28年度	平成27年度
実施日	○第1回 ・ 4月19日（火） ※上記実施日を含め、4月18日（月）から4月22日（金）までの期間に実施	○第1回 ・ 10月21日（水） ※上記実施日を含め、10月19日（月）から10月23日（金）までの期間に実施
	○第2回 ・ 2月1日（水） ※上記実施日を含め、1月30日（月）から2月3日（金）までの期間に実施	○第2回 ・ 2月3日（水） ※上記実施日を含め、2月1日（月）から2月5日（金）までの期間に実施
対象教科 対象学年	・ 国語、算数・数学、理科 ・ 小学校4年・5年、中学校1年・2年 ※第2回は小学校5年、中学校2年のみで国語、算数・数学で実施	
実施率	○第1回 小学校 100% 、中学校 100% ○第2回 小学校 100% 、中学校 100%	

<第1回実施日の変更について>

学校や市町教育委員会の意見等を踏まえ、児童生徒の学習内容の定着状況を年度当初に把握し、早期からの授業改善のためのPDCAサイクルの構築、個に応じた指導に役立てる目的や、学校全体の組織的な取組促進の観点から、4月に実施される全国学力・学習状況調査と同日実施とすることとした。

3 各教科における分析総括

(1) 小学校

国語 みえスタディ・チェックにおいても、引き続き、漢字の書きには課題が見られる。また、文の中における主語と述語を正しく捉えることにも課題が見られる。さらに、書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことに課題が見られる。

算数 基本的な加法、減法、乗法、除法や四則は、計算することができている。また、資料を二つの観点から分類整理して表された表を読むことはできているが、引き続き、理由や方法を説明する記述式問題では無解答率も高く課題が見られる。

理科 平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果では、観察・実験の器具に関する「知識」に課題が見られたが、観察・実験の器具の適切な操作技能の「知識」に関する問題において改善が見られる。「地球の領域」(太陽の動き方と影の動き方等)において引き続き課題が見られ、観察・実験結果を考察して分析し、その特徴を捉えることに課題が見られる。

(2) 中学校

国語 みえスタディ・チェックにおいても、漢字の書きに課題が見られる。また、登場人物の心情や場面についての描写を捉えることや複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを書くことに課題が見られる。

数学 加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがった計算はできている。引き続き、数量関係(割合等)を文字式に表すことや、反比例についての基本的な知識に関することに課題が見られ、事実・方法・理由の説明を記述することは平均無解答率も高く課題が見られる。

理科 「エネルギーの領域」(コイルに流れる電流の向きと電磁石の極の関係)や「地球の領域」(天気の変化を推測すること)に改善が見られる。引き続き、観察・実験で得られた結果についてグラフを分析して考察したり、他者の考察の誤りを改善したりすることに課題が見られる。